

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 060	提案機関名 JA かながわ西湘・湘南ゴールド技術研究会
要望問題名 湘南ゴールドの浮皮現象及びす上がり果の発生原因の解明と圃場での対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】  圃地により低温の影響が原因と思われる浮皮果及び霜当り果の発生が見られた。 発生原因の解明とその対策を確立願いたい。また、発生圃地での今後の栽培方法及び収穫時期を試験願いたい。	
解決希望年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 ( 、 、 の場合 )	湘南ゴールドの栽培技術の確立		
対応の内容等	ご指摘頂いた要望課題については、低温が原因で発生している可能性が高く、当所でも、今年度より、保温性のある被覆資材によるす上がり、霜当たり果の発生低減効果の試験を実施することとしています。 なお、当所ほ場は、立地上、低温や霜が発生しにくため、被覆資材による保温効果の確認はできるものの、す上がり等の発生低減効果の確認が難しいことから、現地での試験ほ場の協力をして頂きたいと考えております。		
解決予定年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			